



PwC Japan有限責任監査法人

クラウドサービスのセキュリティ評価業務（ISMAP）【RA】

クラウドサービスのセキュリティ評価業務（ISMAP）【RA】：

Open/Closed Open

セクションを非表示 - DetailsDetails

Specific Information (External):

【ポジションについて】

世界を代表するグローバルクラウドベンダー等に対するプロジェクトを通して、クラウドやサイバーセキュリティに関する専門家としてのキャリアを構築できます。クラウドやサイバーセキュリティに関する専門家は、Society 5.0などDXが推進されている現代社会において非常にニーズの高い職種となりますが、当部門では教育システムをはじめ手厚いサポート体制を用意していますので、未経験の方でも専門性を身につけていただくことができます。また、リモートを前提とした新しい働き方の実現に向けた環境・制度・ITインフラ整備を進めている点、英語を業務に活かしていただける点も魅力です。

【業務について】

クラウドは企業活動に浸透し、リモートワークなどの新しい働き方を実現する上でも不可欠になっており、クラウドを積極的に活用することは世界的な潮流となっています。また、政府機関においては、かつてはセキュリティリスクの観点から、導入に懸念を抱くケースも多かったものの、現在ではクラウド・バイ・デフォルト原則により、業務効率化や競争力向上のためには、リスクに対応した上でクラウドを戦略的に利用することが求められています。私たちPwCのリスク・アシュアランス部（RA）では、クライアントがこのようなデジタルを活用する際の新たなリスクに対応できる能力を強化し、その価値をステークホルダーに理解してもらうよう、サポートするサービス（コンサルティングとアシュアランス）をGlobalに展開しています。組織経営をする上で、利益最大化を実現するためには、「新たな利益を生み出すこと」と「利益を失うリスクを減らすこと」の2通りの方法があり、RAは“守りのコンサルティング”でクライアントの利益最大化に貢献しています。中でも、政府情報システムのためのセキュリティ評価制度（ISMAP）に携わるクラウドセキュリティを主とした“守りのコンサルティング”の領域における専門家のチーム拡充を積極的に行っています。政府が求めるセキュリティ要求を満たしているクラウドサービスを予め評価・登録するISMAP制度は、日本政府のデジタル戦略の中心施策の一つであり、政府

がクラウド・バイ・デフォルト原則を標榜していることから、日本でビジネスを行うIT関係者においては外資系国内事業者問わず多くの方に注目されています。（ISMAPについて：<https://www.pwc.com/jp/ja/services/digital-trust/ismap.html>）

【当部門でISMAPに関与する魅力】

- ・ ISMAP（政府のクラウド・バイ・デフォルト原則の方針に沿った政府情報システムのためのセキュリティ評価制度の通称）の制度設計等に関わったメンバーも在籍していますので、ISMAPに関する深い知見を得ることができます。
- ・ 外資系・日系問わずグローバルに展開する大手クラウドベンダーに対してサービス提供しており、これらのクライアント向けの案件に関与できます。
- ・ 特に外資系のクラウドベンダーのクライアントを多く抱えているため、英語を業務で活用できます。
- ・ クラウド分野の専門家が多く在籍しているため、クラウドに関連する様々なナレッジを吸収することができます。
- ・ ISMAPで得たナレッジは、クラウドを利用するエンドユーザー向けのコンサルティングにも活用できます。
- ・ リモートワークによりライフスタイルにあわせた柔軟で多様な働き方が可能

◆参考URL

ISMAP評価業務

<https://www.pwc.com/jp/ja/services/digital-trust/ismap.html>

クラウドセキュリティ——近年注目を集める「ISMAP」とは？
<https://www.pwc.com/jp/ja/knowledge/prmagazine/pwcs-view/202303/43-02.html>

政府情報システムのためのセキュリティ評価制度（ISMAP）の概要
<https://www.pwc.com/jp/ja/knowledge/column/awareness-cyber-security/explanation-of-ismap1.html>

ISMAPの現在地と今後の展望—さらなるデジタルトラストの構築に向けて（経産省）
<https://www.pwc.com/jp/ja/knowledge/column/awareness-cyber-security/dtf2023-11.html>:

Work Location(External) 東京

セクションを非表示 - Application conditionApplication condition

Core Requirements(External):

◆ Associate/Senior Associateは、以下のいずれかの経験が必須

- ・ 監査法人またはコンサルティングファームでの実務経験
- ・ SEとしてのプロジェクトの経験者
- ・ 英語を使ったシステム関連プロジェクトのマネジメント経験者

◆ どのTitleでも、以下の知見のある方は優遇

- ・ クラウドセキュリティ、サイバーセキュリティ、インフラ、ネットワーク、データベース、グローバル案件
- ・ 英語力

【キャリアパス】

- ・さまざまな業務を経験し、クラウド・サイバーセキュリティ・システム監査・内部統制・会計・ビジネス英語スキル等を身に付け、ご自身のキャリアを設計していくことが可能です。
- ・コーチと呼ばれるフォロワーと、アサイン担当が個人のキャリアや業務状態を加味してアサインを検討いたします。

RA部門 職員インタビュー；

「SEから転職、RA部門にてシステム監査・アドバイザリー双方で活躍中」
<https://www.pwc.com/jp/ja/careers/mid-career-aarata/our-professionals/rda-mt.html>

「人を知る」

<https://www.pwc.com/jp/ja/careers/mid-career-aarata/our-professionals/digital.html>

【その他】

- ・Sier出身者、コンサルファーム出身者の方が多数活躍しております。
- ・今までの経験やご意向に合わせて、アサインの業務（システム監査・アドバイザリー）を調整いたします。
- ・必要なスキルを身に付けられるe-learningや勉強会がございます。

【Topics】

＊ ISMAP <https://www.pwc.com/jp/ja/press-room/ismap200824.html> ＊ デジタルトラスト
<https://www.pwc.com/jp/ja/knowledge/column/awareness-cyber-security/digital-trust-blue.html> ＊ PJ事例
<https://www.pwc.com/jp/ja/knowledge/prmagazine/pwcs-view/202009.html>
<https://www.pwc.com/jp/ja/about-us/corporate-responsibility/our-stories/sustainable-city-03.html> <https://www.pwc.com/jp/ja/knowledge/column/dx-higobank01.html>

Treatment:

セクションを非表示 - RemarksRemarks

TEL： 070-1443-8323

Email: remi.nishikata@pwc.com

